



## 2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月9日

上場会社名 寺崎電気産業株式会社  
 コード番号 6637 URL <http://www.terasaki.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺崎 泰造  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営企画室室長 (氏名) 周藤 忠  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 06-6791-2701

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	8,044	0.5	159	25.0	244	25.0	39	93.3
2019年3月期第1四半期	8,001	5.7	127	71.7	326	30.4	580	71.5

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 579百万円 ( %) 2019年3月期第1四半期 371百万円 ( 51.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	2.99	
2019年3月期第1四半期	44.53	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	43,646	29,308	67.1	2,246.70
2019年3月期	44,749	30,071	67.1	2,305.18

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 29,272百万円 2019年3月期 30,034百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		14.00	14.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		0.00		16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,770	7.6	630	434.9	680	30.4	480	36.2	36.84
通期	36,780	4.2	2,170	61.6	2,270	18.0	1,610	23.1	123.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	13,030,000 株	2019年3月期	13,030,000 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	1,021 株	2019年3月期	1,021 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	13,028,979 株	2019年3月期1Q	13,028,979 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績のご利用にあつたての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、総じて成長が緩慢となりました。米国では、通商政策の影響から輸出が弱含みとなるも、堅調な雇用と所得が消費を下支えしたことにより、緩やかな景気拡大が継続しました。欧州では、個人消費を中心とした内需が堅調に推移したものの、輸出・生産の減速などから景気の増勢が鈍化しました。英国も、EU離脱に向けた先行き不透明感の影響もあり低成長が続きました。中国では、内需や輸出を中心として緩やかに減速傾向が見られました。その他の新興国についても、成長が鈍化しました。一方、わが国経済は、良好な雇用・所得情勢が個人消費を下支えしたことから、景気に足踏み感があるものの、総じて緩やかな回復基調が持続しました。

当社グループをとりまく経済環境は、国内において、人手不足の深刻化を背景とした合理化・省力化や設備更新を目的とした設備投資に加え、首都圏を中心としたインフラ投資が底堅く推移しました。海外においては、総じて弱い動きとなりました。当社の主要顧客である造船業界においては、2020年から強化される海洋環境規制への対応増加や、新造船受注が緩やかな回復基調で推移しましたが、依然として船価が回復するまでには至っておらず、厳しい状況が続きました。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間の売上高は、船舶用システム製品（船舶用配電制御システム等）の陸電供給システム及びLNG船、並びに機器製品（低圧遮断器等）が減少したものの、海洋環境規制関連製品及び産業用システム製品（産業用配電制御システム等）が増加したことにより、8,044百万円と前年同期比0.5%の増加となりました。営業利益は159百万円と前年同期比25.0%の増益となり、経常利益は244百万円と前年同期比25.0%の減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は39百万円と前年同期比93.3%の減益となりました。

なお、製品別の連結売上高は、システム製品（配電制御システム等）が4,214百万円と前年同期比1.7%の増加、機器製品（低圧遮断器等）が3,830百万円と前年同期比0.7%の減少となりました。

システム製品の連結受注高は、中国の船舶用システム製品及び産業用システム製品の海外プラント向けが減少したものの、LNG船が増加したことにより、前年同期を1.2%上回る5,245百万円となりました。その結果、連結受注残高は前連結会計年度末より1,031百万円増加し、18,171百万円となりました。

なお、機器製品は、計画生産を行っているため、上記受注高、受注残高には含めておりません。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメント別の業績は以下のとおりです。

## 「日本」

船舶用システム製品は、海洋環境規制関連製品が増加したものの、陸電供給システム及びLNG船が減少したことにより、売上は前年同期と比べ減少しました。

産業用システム製品は、海外及び国内プラント向けが増加したことにより、売上は前年同期と比べ増加しました。

メディカルデバイスは、医療機器が堅調に推移したものの、臨床検査機器が減少したことにより、売上は前年同期と比べほぼ横ばいとなりました。

エンジニアリング及びライフサイクルサービスは、海洋環境規制関連工事及び産業向けエンジニアリングが堅調に推移し、売上は前年同期と比べ増加しました。

その結果、システム製品全体の売上は前年同期と比べ減少しました。

機器製品は、国内向けはほぼ横ばいとなるものの、オセアニア地域向けが減少したことにより、売上は前年同期と比べ減少しました。

その結果、当セグメントの売上高は4,801百万円と前年同期比6.5%の減少、セグメント利益は87百万円と前年同期比51.0%の減益となりました。

## 「アジア」

船舶用システム製品は、造船業界が緩やかに回復し始めたことにより、売上は前年同期と比べ増加しました。

エンジニアリング及びライフサイクルサービスは、堅調に推移し売上は前年同期と比べ増加しました。

機器製品は、舶用市場向けが低調に推移したことにより、売上は前年同期と比べ減少しました。

その結果、当セグメントの売上高は2,251百万円と前年同期比18.7%の増加、セグメント利益は208百万円と前年同期比85.5%の増益となりました。

## 「ヨーロッパ」

機器製品は、英国内でEU離脱に向けた先行き不透明感の影響があるものの若干増加し、中近東及び西欧州向けも堅調に推移したことにより、売上は前年同期と比べ増加しました。

エンジニアリング及びライフサイクルサービスの売上は、前年同期と比べ増加しました。

その結果、当セグメントの売上高は991百万円と前年同期比2.1%の増加、セグメント利益は34百万円と前年同期比155.9%の増益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における財政状態は、たな卸資産が前期末比244百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が前期末比1,120百万円並びに現金及び預金が前期末比578百万円それぞれ減少したこと等により、流動資産は前期末比1,505百万円減の31,065百万円となりました。固定資産では、有形固定資産が前期末比490百万円増加したこと等により、前期末比401百万円増の12,581百万円となりました。

その結果、当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前期末比1,103百万円減の43,646百万円となりました。

負債の部では、電子記録債務が前期末比314百万円及び未払費用が前期末比268百万円それぞれ減少したこと等により、流動負債は前期末比898百万円減の11,648百万円となりました。固定負債では、長期借入金が前期末比110百万円減少した一方、その他の固定負債が623百万円増加したこと等により、前期末比557百万円増の2,689百万円となりました。

その結果、負債合計は前期末比340百万円減の14,338百万円となりました。

純資産の部では、為替換算調整勘定が前期末比556百万円減少したこと、加えて配当金支払い等により利益剰余金が前期末比143百万円減少したこと等により、純資産合計は前期末比763百万円減の29,308百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月15日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,368,165	10,789,598
受取手形及び売掛金	12,731,793	11,611,589
商品及び製品	3,631,439	3,463,181
仕掛品	2,496,588	2,973,880
原材料及び貯蔵品	2,090,174	2,025,192
その他	527,110	458,552
貸倒引当金	△274,752	△256,554
流動資産合計	32,570,519	31,065,439
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,468,460	8,411,274
減価償却累計額	△3,815,023	△3,854,443
建物及び構築物 (純額)	4,653,436	4,556,830
機械装置及び運搬具	6,218,285	6,101,909
減価償却累計額	△5,302,289	△5,252,757
機械装置及び運搬具 (純額)	915,995	849,152
工具、器具及び備品	7,661,228	7,667,503
減価償却累計額	△7,216,628	△7,258,944
工具、器具及び備品 (純額)	444,599	408,559
土地	2,734,440	2,733,967
リース資産	71,177	739,508
減価償却累計額	△66,802	△89,656
リース資産 (純額)	4,375	649,852
建設仮勘定	185,071	229,925
有形固定資産合計	8,937,919	9,428,287
無形固定資産		
その他	165,337	149,512
無形固定資産合計	165,337	149,512
投資その他の資産		
投資有価証券	419,252	398,032
退職給付に係る資産	2,069,610	2,033,066
繰延税金資産	356,779	342,002
その他	1,265,208	1,264,850
貸倒引当金	△1,034,690	△1,034,689
投資その他の資産合計	3,076,161	3,003,263
固定資産合計	12,179,418	12,581,063
資産合計	44,749,938	43,646,502

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,462,786	3,338,030
電子記録債務	3,194,492	2,879,637
短期借入金	480,000	480,000
1年内返済予定の長期借入金	1,952,380	1,898,380
未払法人税等	456,836	209,118
未払費用	1,752,682	1,484,513
製品保証引当金	77,072	71,735
その他	1,170,127	1,286,823
流動負債合計	12,546,377	11,648,239
固定負債		
長期借入金	907,360	796,515
繰延税金負債	417,503	467,448
退職給付に係る負債	517,746	513,116
その他	289,309	912,682
固定負債合計	2,131,920	2,689,762
負債合計	14,678,297	14,338,001
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,236,640	1,236,640
資本剰余金	2,244,650	2,244,650
利益剰余金	25,947,177	25,803,772
自己株式	△1,433	△1,433
株主資本合計	29,427,033	29,283,629
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	98,055	83,133
為替換算調整勘定	△284,576	△841,424
退職給付に係る調整累計額	793,625	746,847
その他の包括利益累計額合計	607,104	△11,443
非支配株主持分	37,501	36,315
純資産合計	30,071,640	29,308,500
負債純資産合計	44,749,938	43,646,502

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	8,001,484	8,044,928
売上原価	5,810,037	5,975,712
売上総利益	2,191,446	2,069,215
販売費及び一般管理費	2,063,501	1,909,283
営業利益	127,945	159,932
営業外収益		
受取利息	16,805	20,330
受取配当金	5,940	6,811
為替差益	185,405	99,435
その他	17,676	17,640
営業外収益合計	225,828	144,217
営業外費用		
支払利息	5,281	8,309
貸倒引当金繰入額	21,804	-
デリバティブ評価損	-	50,724
その他	279	180
営業外費用合計	27,365	59,214
経常利益	326,407	244,935
特別利益		
固定資産売却益	208,147	-
特別利益合計	208,147	-
特別損失		
固定資産除却損	214	354
特別損失合計	214	354
税金等調整前四半期純利益	534,341	244,580
法人税、住民税及び事業税	108,669	114,945
法人税等調整額	△153,441	90,320
法人税等合計	△44,772	205,266
四半期純利益	579,113	39,314
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,107	313
親会社株主に帰属する四半期純利益	580,221	39,000



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	579,113	39,314
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△41,102	△14,922
為替換算調整勘定	△133,944	△556,848
退職給付に係る調整額	△33,037	△46,777
その他の包括利益合計	△208,084	△618,548
四半期包括利益	371,029	△579,234
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	372,136	△579,547
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,107	313

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループの在外連結子会社において、国際財務報告基準第16号「リース」を当第1四半期連結会計期間より適用しております。

これに伴い、借手としてのリース取引について、原則すべてのリースについて使用権資産及びリース負債を認識するとともに、使用権資産の減価償却費とリース負債に係る支払利息を計上しております。

当該会計基準の適用にあたっては、経過措置に従っており、過去にオペレーティング・リースとして分類していたリースについて、当第1四半期連結会計期間の期首に使用権資産とリース負債を認識しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の有形固定資産が643,538千円、流動及び固定負債のその他が647,082千円それぞれ増加しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	アジア	ヨーロッパ	合計
売上高				
外部顧客への売上高	5,133,619	1,896,351	971,513	8,001,484
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,101,647	682,532	2,543	1,786,723
計	6,235,266	2,578,883	974,057	9,788,207
セグメント利益	177,814	112,463	13,322	303,600

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	303,600
セグメント間取引消去	39,793
全社費用(注)	△215,448
四半期連結損益計算書の営業利益	127,945

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	アジア	ヨーロッパ	合計
売上高				
外部顧客への売上高	4,801,024	2,251,909	991,994	8,044,928
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,177,346	799,474	2,963	1,979,784
計	5,978,371	3,051,384	994,957	10,024,712
セグメント利益	87,210	208,639	34,085	329,935

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	329,935
セグメント間取引消去	57,633
全社費用(注)	△227,636
四半期連結損益計算書の営業利益	159,932

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。